



愛知県
小野寺歯科

鷲野 崇
先生

今回のアイテム

プレミスノナノ・ハイブリッドコンポジットレジン

特筆すべき裂溝彫刻のし易さ、操作性

プレミスの材料学的特徴は、①耐摩耗性に優れる。②重合収縮が小さい。③研磨性に優れる。④形態付与がし易い。という4つの特徴に集約できます。

これは、特許である「トリモダルナノハイブリッド技術」というファイラー配合技術に集約される特徴であると言え換える事が出来ます。

ファイラーの大部分を占めるのは、「ポイント4 PPFファイラー」という粒径30~50μmの有機質複合ファイラーと、「ポイント4ファイラー」という粒径0.4μmのバリウムガラスファイラーです。

この2種の異なるタイプのファイラーが緊密に配合されていることよって、コンポジットレジン自体の強固な耐摩耗性と、わずか1.6%というとても低い重合体積収縮率が実現されています。

また、特筆すべきはその両ファイラー間には粒径0.02μm(20nm)のシリカナノファイラーが高密度に充填されている事です。

このナノファイラーが分散配合されている事によって、研磨後の極めて滑沢な仕上がりが得られます。

そして、これらファイラーの充填率はコンポジットレジン中の84%(体積比69%)という高い配合率になっている為、ペーストはサクサクした硬さを有しており、思い通りの形態

付与が出来る事も大きな特徴の一つです。

【白歯症例】

サクサクした硬さを有しており、臼歯部の裂溝彫刻のし易さは、今迄使ったレジンペーストの中では特筆すべきものがあります。本症例ではポディーのA3.5とトランスルーセント

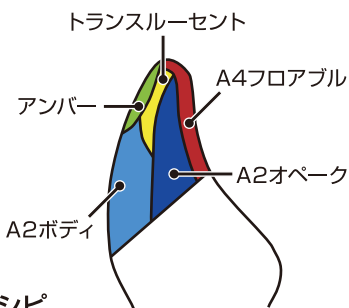
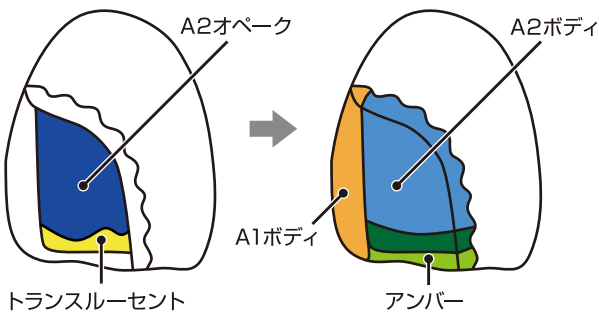
トのクリアーを使用しました。プレミスはカラーバリエーションが豊富であり、また、周囲歯質に調和する適度な半透明性を有しています。

中でもトランスルーセントのクリアーは、エナメル質の色調・透過性再現にとっても優れた筆者の臨床では重宝しています。

【前歯症例】

このような打ち抜け窩洞への充填は、オペークシェードを用いて遮光を計ります。

プレミスのオペークシェードは、象牙質に酷似した蛍光性を有している為、自然感のある色調表現に効果的である。築盛に関してはレシピを参照下さい。



前歯症例レシピ